

平成30(2018)年

6月1日

第205号 毎月発行

編集 公民館だより編集室  
発行 西東京市公民館

毎月第4月曜日は休館日です

西東京市

# 公民館だより

今月号の内容

2面…若者講座、女性のための講座、  
講座「自分らしく生きる」、農業  
を知る講座、ちいさな展示会、  
上映会 ほか

3面…現代的課題を考える講座 ほか

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp  
田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

## あらゆる世代に向けて

幅広い年齢層のみなさんに向けて、事業を行っています。

赤ちゃんと一緒に楽しむ事業や、中学生や若い世代を対象とした事業もあります。

### ■0歳からのコンサート(保谷駅前)

1時間程度のミニコンサート。会場にはベビーカーのまま入ることができます。

### ■青年対象 音楽づくりの教室(柳沢)

高校生以上30歳くらいまでを対象に、日々の感動を音楽で自分らしく表現する教室。秋から実施する予定です。

### ■若者講座「あつまれ! みんなのけいおん!!」(保谷駅前)

中学生以上の10代を対象に、ギターやドラム、キーボードなど、好きな楽器を演奏して、軽音楽を楽しむ講座。7月から実施する予定です。



## ロビーでは

勉強をしたり、食事をしたり、読書をしたり、会話をしんだり、ロビーでの過ごし方はさまざまです。誰もが自由に入出入りすることのできるロビーを活用して、コンサートや手工芸の講習会、作品展などを行っています。

### ■ロビーコンサート(柳沢、田無、ひばりが丘)

開放的なロビーでのコンサート。

### ■講習会 ミニ講習会(谷戸)、ちいさな展示会講習会(芝久保)

気軽にものづくりを体験できます。

### ■作品展 ロビー企画(田無)、ちいさな展示会(芝久保)

公民館で活動する地域のみなさんの作品展。



# 公民館(地域)へ、おいでよ!

家(ナカ)でもない。職場・学校(ソト)でもない。

## 施設の特徴を活かして

それぞれの館の施設の特徴を活かした事業を行っています。

### ■ムービールーム柳沢(柳沢)

柳沢公民館の視聴覚室では、大きなスクリーンで映画を鑑賞することができます。公民館が、月2回程度行う映画会では、さまざまなジャンルの作品を上映しています。みんなで映画について語り合う交流会「ムービールーム柳沢会」も開いています。

### ■陶芸体験教室(柳沢)

柳沢公民館には工作室と陶芸室があります。ここで活動する陶芸サークルの協力を得て、夏に陶芸体験教室を行います。

### ■料理講座(田無)

田無公民館には、調理機能を備えた部屋「実習室」があり、そこで料理講座を実施しています。料理に不慣れな人でも大丈夫。「作って、食べる」ことは、生活の楽しみではないでしょうか。その先に、奥深い学びや発見が待っているかもしれません。

### ■バンドマルシェ(保谷駅前)

保谷駅前公民館には完全防音の音楽室があります。ドラムセットやキーボード、ミキサー、ギターアンプなどが常設され、バンド活動を楽しむことができます。若い世代だけでなく、近隣の小・中学校のお父さんバンドやシニアのサークルも活動しています。昨年夏には、利用団体同士の交流会「バンドマルシェ」を行いました。



## 新しく何かをはじめたい方へ

何か新しいことに挑戦したい。

地域に知り合いをつくりたい。

だけど、なかなか一歩が踏み出せない。

公民館は、そのような方を応援します。

サークルの活動を見学したり、実際に活動に参加したりできる体験会を行っています。

### ■サークル体験会

#### (ひばりが丘)

昨年は、太極拳やヨガ、川柳、合唱、折り紙など、19団体が参加しました。今年も秋ごろ開催する予定です。

### ■サークル体験フェア(保谷駅前)

開館10周年記念事業として、9月に開催する予定です。



保谷小学校正門前  
昭和46(1971)年夏撮影  
西東京市中央図書館地域・行政資料室所蔵



現在の保谷小学校正門前  
撮影:水口トミオ(保谷町在住)

保谷小学校の創立は明治7(一八七四)年(当時は「上保谷学校」)。宝泉院(現住吉町一丁目)を借用しての開校でした。明治17年に、現在の場所に校舎を新築し、移転しました。



写真で見る いまむかし  
保谷小学校 正門前

わが街をもっと知りたくて  
TOMOPO(共歩)  
〜共に考え、共に歩む〜

今、市内で、さまざまな要因  
やきっかけによって、何年間も  
自宅に閉じこもり続けている状  
態にある人の就労を応援する仕  
組みづくりが始まるようしてい  
ます。取り組んでいるのは、「T  
OMOPO(共歩)」。昨年6、  
7月に行われた保谷駅前公民館  
主催の「家族のトリセツ研究講  
座」への参加がきっかけとなっ  
て、ひきこもっている子どもを  
持つ親たちが立ちあげた会です。  
「彼ら(子ども)は、本当  
は人の役に立ちたいと思ってい  
る。働く中で、誰かに感謝され  
れば充実感が得られる。人の役  
に立ったと実感できる機会があ  
れば…」その想いから、「静岡  
方式」といわれる方法を実践し  
ようとしているのです。それは、  
おせっかいなおじさん・おばさ  
んが、ボランティアで、伴走者  
としてマンツーマンで若者の就  
労を応援するというものです。  
「支援という言葉を使うと支  
援する人とされる人の関係が固  
い」

【連絡先】  
佐藤 ☎070-6993-6662  
e-mail tomopo.tomoniayunmu@cloud.com

このような姿勢が表れています。  
会では、7月に静岡方式を生  
み出した青少年就労支援ネット  
ワーク静岡の理事長津富宏氏を  
招いて、講演会を開きます。ひ  
きこもりの家族がいる人に向け  
ての「ひとりで悩まないで。私  
たちと一緒に」、地域の人の向  
けての「私たちと共に歩む協  
力者」というメッセージと一緒に

定され、上下関係が生まれ、ひ  
きこもりの状態の人を弱者とし  
てとらえ、上からの目線で接し  
てしまう。私たちは、彼らと共  
に感じ、共に考え、共に歩む伴  
走者で、対等な関係。だから、  
応援という言葉を使います」。

「共歩」という名前には、会の  
このような姿勢が表れています。  
会では、7月に静岡方式を生



3月に開催した講演会の様子

声の「公民館だより」をお届けしています。知り合いで希望される方がいらっしゃいましたら、谷戸図書館(電話042-421-4545)へお問い合わせください。